

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 3 月 21 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520708

研究課題名（和文） 「移動」と新たな公共領域の構築——中国沿海部のムスリム社会を中心に——

研究課題名（英文） “Population movement” and construction of a new public domain, Led by the Muslim society of coastal regions of China

研究代表者

王 柯 (WANG Ke)

神戸大学・大学院国際文化学研究所・教授

研究者番号：80283852

研究成果の概要（和文）：

本研究は、フィールド・ワークで入手したデータ資料と一次史料に基づいて、中国沿海部ムスリム社会の構造的特徴、宗教信仰、宗族意識、倫理感、公共領域に関する意識、およびその形成と中国ムスリムが経験した地域間移動、社会移動との関係について分析し、以下の結論に達した。①、中国沿海部ムスリムの「漢化」のプロセスは、農業化、現地化、宗族化と「科挙化」という四つの段階から構成され、宗族化はもっとも重要な役割を果たした。②、現代における民族的、宗教的覚醒は中国の改革開放政策によって起こった。③、経済発展の基礎は安定した社会環境であり、それを実現するために宗族、民族を乗り越えるような「公共性」を作り出すことが大切である。④より多くの「公共性」を作り出すために「公共空間」の存在が必要。⑤「公共空間」についての検証は、地域社会または民族社会の本質を検証する上で有効な手法である。

研究成果の概要（英文）：

Based on historical materials and data, this study researched a characteristic of the Muslim society and religion faith, lineage awareness, consciousness about the public domain, relations with the movement between the areas of coastal regions of Chinese Muslim, reached the following conclusions. I. The process that a shore part Muslim became a Chinese was constructed from four stages. The most important role is to become a lineage. II. The awakening of the racial religion in the present age, It was generated by Chinese reform and opening up policy. III. The basics of economic development are stable society environment. To realize it publicity that over a family, an ethnic group is necessary. IV. To create more publicity, existence of the public space is required. V. Inspection about the public space, It is a good method to inspect a community or racial social essence.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	700,000	210,000	910,000
2009年度	500,000	150,000	650,000
2010年度	500,000	150,000	650,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
年度			
総計	2,200,000	660,000	2,860,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学、文化人類学・民俗学

キーワード：民族、宗族、公共領域、イスラーム、移動

1. 研究開始当初の背景

中国沿海部のムスリム社会には、漢族社会、中国や他国のムスリム社会にそれぞれ見られない公共領域が存在し、イスラーム社会で考えられない宗族祠堂や宗族の神を祭る宗廟は現地への移住と定着以降作られ、内陸部の漢族社会になかった村劇場、村南音劇団、村文化センターなどは「華僑」を海外に大量に送り出した19世紀末20世紀初頭に誕生し、中国ムスリムのメッカ巡礼とアラビア留学が出来るようになった1980年代以降モスクも作られた。多様な公共空間の誕生に伴い、収穫祭、人生儀礼、祖先祭祀、族譜作成、教育理念、演劇活動、宗教信仰、生活慣習とタブー、倫理と美意識など、精神構造も再構築されている。しかしこれに関する研究が極めて少ない。

2. 研究の目的

中国の多民族国家という性質およびその意義を深く理解するために、中国沿海部のムスリム社会にある公共領域及びその形成と中国ムスリムが経験した「移動」との関係について分析し、究明を目指し、中国における多文化共生、多民族共存する社会の形成における一つの回路を明らかにすること。

3. 研究の方法

ある具体的なムスリム社会を対象に、フィールド・ワークによる調査・追跡・記録・分析及び史料研究を通じて、移動に伴うムスリム社会の形成、変容など、その歴史的プロセスを復元した上で、さらに現代の社会像と比較し、ムスリム社会の中国社会への社会適応の様相とその原因及び特徴を検討する。

4. 研究成果

中国沿海地域に位置する「陳埭回族」という数万人で構成するムスリム・コミュニティは、福建省ないし中国全国においても非常に豊かな地域として知られている。ほかの地域から移動してきた「陳埭回族」が豊かさを手に入れることができたもっと重要な理由はムスリム・コミュニティ内部の一致団結、外部との共存共生関係の構築によって経済発展に有利な安定した社会環境が実現したことである。本研究は歴史学、宗教学、文化人類学、民俗学の手法を通じて検証し、「陳埭回族」を取り巻くこの安定した社会環境を支えているのは、宗族、民族を乗り越える複数の「公共空間」である、という結論を得た。この結論は、一つの地域社会と民族社会についての分析だけではなく、「公共空間」という独自のコンセプトを地域や民族社会の本質を検証する手法として打ち出したことによって、学術上においても大きな貢献といえる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計14件)

①王柯、『『民族的』戦略の限界と公共性——中国沿海地域のあるムスリム社会の『改革開放』』神戸大学『近代』刊行会『近代』、査読なし、106号、2012、1-27

②王柯、「少数民族地域における中等専門教育の意義」、日本華人教授会議年報『東アジア論壇』(第7号)2011年、19-22

③王柯、「経済開発と『民族』の役割の再発見—

—『陳埭回族』の事例を通じて」愛知大学現代中国学会『中国 21』、査読有り、34 巻、2011、49-70。

④王柯、「民権・政権・国権——辛亥革命与黒龍会」香港中文大学『21 世紀』、査読有り、127 期、2011 年、44-56。

⑤王柯、「日中友好と高碕達之助——歴史の『記憶』と『忘却』」『環』42 期、藤原書店、2010 年、26-48。

⑥王柯、「“民族”，一個来自日本的誤会」中国社会学会民族社会学専門委員会・北京大学社会学人類学研究所『民族学与社会学通訊』*Sociology Ethnicity*，査読有り、第 70 期、2010、1-12。

⑦王柯、「国民国家与民族問題—關於中国近代以来民族問題的歴史思考」中国社会学会民族社会学専門委員会・北京大学社会学人類学研究所『民族学与社会学通訊』*Sociology Ethnicity*、査読有り、第 60 期、2010、1-8。

⑧王柯、「日本侵華戦争与“回教工作”」、『中国人民大学報刊復印資料・現代史研究』(発表論文の転載)、査読有り、2010 年第 1 期、92-107

⑨王柯、「日本侵華戦争与“回教工作”」、『歴史研究』(中国)、査読有り、2009 年第 5 期、87-105。

⑩王柯、「戦争に収斂された「回教徒」への思い——幻の対中「回教工作」(下)、『環』36 期、藤原書店、2009 年、261-275

⑪王柯、「戦争に収斂された「回教徒」への思い

——幻の対中「回教工作」(上)、『環』35 期、藤原書店、2008 年、274-285

⑫王柯、「清国ムスリム公使の日中外交」(下)、『環』34 期、藤原書店、2008 年、240-251

⑬王柯、「清国ムスリム公使の日中外交」(上)、『環』33 期、藤原書店、2008 年、254-263

⑭王柯、「東アジアにおける「歴史の和解」と「民族」思想の超越」、『環』32 期、藤原書店、2008 年、248-259

[学会発表](計 1 件)

①王柯、「『第三の公共空間』の誕生—『陳埭回族』と『陳埭回族事務委員会』」、2012 年 1 月 4 日、泉州海外交通史博物館、国際シンポジウム「中国沿海地域ムスリム社会の公共空間——『陳埭モデル』の可能性」

[図書](計 7 件)

①王柯、商務印書館(北京)、『走向「民族国家」——中国近代民族国家思想誕生的国際因素』(中国語)、2011 年、252 頁。

②王柯、他、藤原書店、『辛亥革命と日本』、2011 年、328 頁。

③王柯、他、勁草書房、『アジアの非伝統的安全保障Ⅱ、中国編』、2011 年、223 頁。

王柯、他、丸善出版、『東アジアにおける過去、現在と未来』2011 年、448 頁

④王柯、他、桜美林大学北東アジア総合研究所、『北京オリンピックと中国の経済・社会問題』、2009 年、109 頁。

⑤王柯、他、「独自性の尊重こそ『和』の精神」、

『公共哲学のあゆみ』東京大学出版会、2008 年、
341 頁。

⑥王柯、他、『中国総覧 2007～08 年版』、ぎょ
うせい、2008 年、572 頁。

⑦王柯、他、『東アジアの地平から見た辛亥革命の思想的価値——近代化と留学交流の意義』、『国際文化学』別冊、国際シンポジウム・シリーズV、117 頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者：王 柯 (WANG Ke)

神戸大学・国際文化学研究科・教授

研究者番号：80283852

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者